9月

September

公私幼保合同研修

9月1日　保幼こ小連携・接続研修会





☆幼児期の終わりまでに育ってほしい姿と架け橋プログラム☆

幼児教育と小学校教育の「円滑な接続」の課題解決について、相互理解の必要性や、互いにどのようにして資質・能力を育んでいるかの相互理解、大切にしている経験を話し合い、幼児教育を「見える化」する等のお話をしていただきました。幼児教育から小学校教育に「学びをつなぐ」ために、「遊びや学びのプロセス」として、子どもの探究を支えるための環境の構成や援助を伝えていくことが必要であり、それが小学校1年生の授業（環境の構成や援助）を考えるヒントになるということも学びました。後半は、保育園所、幼稚園、認定こども園、小学校の教職員が交じったグループで事例を使ったワークを行い、それぞれの考えを共有することができました。

9月3日　子どもの健康研修会

〇熱性けいれん・てんかんの基本知識と救急対応の実際を学ぶ〇

子どものひきつけ（てんかんやけいれん）についての定義や具体的な内容、治療方法等様々なことを詳しくお話していただきました。てんかんの発作中に絶対にしてはいけないこと（水を飲ませる、押さえつけたり大声で呼びかけ刺激する等）や、できればやっておきたいこと（安全確保、衣服をゆるめて気道確保、記憶・記録（スマホで撮影やメモ）等）、保育施設で対応する時に大切なことを確認する機会となりました。また、発作の最初の症状が最も大切であるが、発作の経過や発作後の様子も大切であること等、現場での観察の重要性等、様々なことを学ぶことができました。





9月15日　タイムリー研修会







☆子どもの健康と運動遊び☆

子どもの現状を知ることで、子どもが変わったのではなく、子どもを取り巻く環境が変わったことを学びました。子どもにとって、昼過ぎから15時頃にかけての時間が運動遊びのゴールデンタイムになり、子どもの運動機能の発達について考えながら、動きたくなる環境の工夫をすることが大事であることをお話していただきました。遊びを通して、人としての力が育つと学び、自身の保育を振り返る機会となりました。また、ブーメラン、ジャイロをつくり実際に遊んだことで、保育について気付くこともあり、明日からの保育に生かしていこうと意欲が高まりました。

9月25日　教育・保育理論研修会





☆保育と絵本
～発達にそった選び方・活かし方～☆

認知のはじまりの時期に出会う絵本（ファーストブック）は、言葉にリズムのある絵本、色が鮮やかではっきりしたものを選ぶと良いことや、一対一で絵本を見ることの大切さをお話していただきました。保育環境にふさわしい絵本を選ぶ7つの視点（物語の根底に、生きることへの肯定感や人への愛情が感じられること等）や、読み聞かせ時の保育者の位置や環境について学びました。『乳幼児期に身近な大人やお友達と絵本を楽しみ、想像の世界に浸り込んだ体験は、愛情の記憶としてその子を生涯支え続けます』という講師の先生の言葉を聴き、絵本の大切さを学べた研修となりました。